

## 事業報告シート

事業分野	もの・まち・くらし・その他		登録日	
事業名称	第35回(社)北海道建築士会全道大会(留萌大会)			C分科会
開催日時	平成22年10月2日(土) 13:00 ~14:45		会場:留萌市スポーツセンター 小体育館	
ふりがな	ほつかいどうけんちくしかい せいねんいいんかい			
活動団体名	北海道建築士会 青年委員会			
事業の目的	地球温暖化の防止を行うために建築部門では、2030年までに予想される温室効果ガス排出量の約30%は削減可能であるとされていますが、建築では、地球の生命を守るために明日(earth)を考えることが必要であり、今までの地球環境に対する建築の取り組みや、今後について建築士は、何を学び・何を創り・そして何を伝え繋げるかを考える。			
主な事業内容	<p>前半は、地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 建築研究本部 北方建築総合研究所 環境科学部 建築環境グループ 研究主任 であります、糸毛治 氏に講演をしていただきました。 講演内容といたしましては、建築が環境へ取り組まなければならない必要性、良質なストックの生産等について講演をしていただきました。</p> <p>後半は、糸毛氏にも参加していただき、既存ストック住宅を具体的に想定し、新たに住もうとしている施主の要望に対して、改修コンセプトを講演内容を踏まえ、ワークショップを行い、2テーブルに発表していただきました。</p> <p>スケジュール</p> <p>13:00~ C分科会開会～開会挨拶</p> <p>13:05~13:35 講演</p> <p>13:35~14:35 ワークショップ【(6名+TM) ×8テーブル】～発表</p> <p>14:35~14:45 まとめ(コメント:糸毛氏より) (総評:吉木常務理事)</p> <p>14:45 閉会</p>			
事業収支	予算額:87,000円 決算額:87,000円(ポスター、看板、資料作成費、講師費等)			
参加者	本部 (吉木常務)	青年建築士		合計
	1	59		60
建築士の関り	講演、ワークショップを通じて、建築士として地球環境に対して取り組まなければいけないこと、ストックの活用方法について再確認が必要であると認識するきっかけとなった。			
今後の検討課題	環境のみの対応ということになるのか?良質なストックの生産には、ライフスタイルに合わせて変化が必要であり、全体・部分改修等の選択の手法、及び街並み、周辺環境、都市計画、耐震等、現在に求められることへの対応を考慮した上で、利用価値のある土地・建物の見極めを行い、トータル的に、資産価値の上がるストックを生産することが必要と考える。建築の知識のみに特化するのではなく、幅広い知識が必要と考える。			
連携・協力組織等	講演:地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 建築研究本部 北方建築総合研究所 環境科学部 建築環境グループ 研究主任 糸毛 治 氏			
活動状況写真	 			
■ 糸下 氏の講演				
ふりがな	ほつかいどうけんちくしかい せいねんいいんちょう かんだみひで		TEL/FAX	011-251-6076 / 011-222-0924
事業代表者氏名	北海道建築士会 青年委員長 神田光英		E-mail	<a href="mailto:info@h-ab.com">info@h-ab.com</a>
団体所在地	北海道札幌市中央区大通西5丁目11番地		URL	<a href="http://www.h-ab.net/">http://www.h-ab.net/</a>